

第2次行財政再構築プラン（フォローアップ）の進捗状況 （平成28年9月末現在）について

行財政再構築の着実な推進を図るため、第2次行財政再構築プランの進捗状況については、現在、今後の行財政改革の方向性を示す新たなプランの策定準備を進めているが、新たなプランは平成29年度から実施予定であるため、平成28年度は、第2次プランの計画期間終了後においても現行の内容・方法により継続的に取り組み、進捗管理を必要とする項目（フォローアップ）について、庁内の行財政改革推進本部に報告し、評価を受けるとともに、半期ごとに有識者・市民により構成する行財政再構築推進委員会に報告を行い、意見や助言をいただくこととしています。

今回は、各プログラムの平成28年9月末現在の進捗状況について、報告します。

1 各プログラムの平成28年9月末進捗状況

平成28年9月末現在のスケジュールの進捗状況については、全41項目（再掲1項目）の取組のうち、39項目が「予定どおりに進捗」、2項目が「予定よりも遅れている」となりました。今回の進捗状況は主に進行状況について評価を行っておりますが、年度末の評価では成果も踏まえ評価を行う予定です。

【表1】各プログラムの進捗状況（平成28年9月末）

分野	予定以上に 進捗 (S)	予定どおりに 進捗 (A)	予定よりも 遅れている (B)
I 地域協働の推進 (9項目)	0	9	0
II 情報の共有と双方向のコミュニケーション (4項目)	0	4	0
III PDCAサイクルの構築 (6項目)	0	6	0
IV 財政基盤の強化 (12項目)	0	10	2
V 執行体制の再構築 (10項目)	0	10	0
計	0	39	2

【参考1】着実に進んでいる主な取組（例示）

予定以上及び予定どおりに進捗している取組のうち、これまでに成果を上げつつある取組を以下のとおり、例示します。なお、上半期報告については、スケジュール等の進捗状況を中心に評価しております。成果指標の達成状況については、年度末報告時点で掲載します。

No.7 協働事業の推進（スポーツボランティアの育成）

【文化スポーツ課】

取組の概要	地域でのスポーツ指導やニーズの異なる各世代のスポーツ活動を支えるため、スポーツボランティアを育成する。
28年度の 年度計画	スポーツボランティアの発掘・育成のため、市や体育協会が主催するスポーツイベントへの積極的な活用とスキルアップのための講演会や研修会を実施する。上半期は4月に障害者スポーツ体験会、6月にはスポーツボランティアに求められる役割や資質について学ぶ研修会を実施する予定。下半期には10月の市民スポーツまつり、12月の多摩六都リレーマラソン及び2月の市民駅伝大会などスポーツイベントが多数あるため、積極的にボランティアを活用して実践で経験を積むことで、2020東京オリンピック・パラリンピック大会につなげていく。笹川スポーツ財団と連携し、市外へも活躍の場を広げていく。
28年9月末 の進捗状況	4月にスポーツボランティア向けに障害者スポーツ体験教室を開催。卓球とボッチャを取り上げて、障害のある方もない方も一緒に楽しめるスポーツを紹介しつつ、スポーツをする人を支える人材の必要性について学んだ。この研修を受けて、5月の障害者運動会の運営役員として5名が参加した。6月には日本スポーツボランティアネットワークと共催で、スポーツボランティアについての研修会を実施し、市外からの参加者も含めて38名の参加があった。また、4月に開催したノルディックウォーキング教室に運営役員として10名が参加。受付業務、コース整理補助を行った。

スポーツボランティア研修会の様子



【参考2】 予定よりも遅れている取組一覧（2項目）

No	項目名	平成 28 年 9 月末 進捗状況	要因と今後の対応
30	財政指標の改善	公共施設整備基金及び債務総額については、平成 28 年度末見込みにおいて目標値を達成する見込みとなった。財政調整基金については、現時点では、成果指標を下回る結果となった。	<p>【要因】 財政調整基金について補正予算において 8.9 億円の取り崩しを行ったため。</p> <p>【今後の対応】 財政調整基金について目標達成に向けさらなる積立てに努める。</p>
34	受益者負担の適正化	各所管課と庁内検討会議を5月と9月に開催した。	<p>【要因】 報告書の趣旨にそった検討を行っているが、課題の整理、実施準備までには至らなかった。</p> <p>【今後の対応】 検討委員会報告書の提言に沿ったかたちでの実現に向けて調整していく。</p>